

ウォータージェット工法を推進しています

煙突・外壁の対策はウォータージェット工法で

調査・分析から対策工事までワンストップで対応します

アスベスト

ワンストップサービス

建築物石綿含有建材調査者

全国に国家資格を取得したプロの調査者を多数配置しています。



調査

分析

外壁等の対策工法選定に配慮

外壁等の仕上塗材は主材層と下地調整材から構成されており、どの層にアスベストが含まれるかにより、対策工事の工法が変わってきます。



対策工事



アスベストアナライザー配備

1~2%以上含有のアスベストを数秒で検出することが可能です。



実体顕微鏡

偏光顕微鏡

JIS A 1481-1 の分析により層別観察が可能です。

超高压ウォータージェット工法

最高 245MPa の吐出圧力を誇る超高压水発生装置(プランジャーポンプユニット)を配備しています。最大の特徴は水だけを使用しますので、環境に優しく、建物の母材に傷をつける心配もありません。

ワンストップサービス

調査のご依頼

現地確認
(資料調査)

調査計画作成

試料採取

定性分析

定量分析

施工計画・見積作成

監督官庁届出

対策工事実施

環境測定

廃棄物処分

ご用命の際は、最寄りの事務所へご連絡ください！

本社アスベスト対策プロジェクト部 〒105-0011 東京都港区芝公園一丁目2番9号 TEL : 03-3432-5451

アスベスト調査分析はエヌエス環境にお任せ下さい

建築物の改修や解体を行う場合は、アスベスト（石綿）の使用の有無について、事前調査を行い、調査結果を記録しておかなければなりません。（石綿障害予防規則第3条より抜粋）

アスベスト使用の判断基準は様々な要素の総合判断が必要です。

- ・使用されていた年代
- ・使用されていた建材の種類
- ・使用の目的
- 使用部位
- e t c . . .

弊社では、**知識と経験豊富なスタッフが、トータルでサポートします！**

《調査のフロー》

書面調査 現地確認

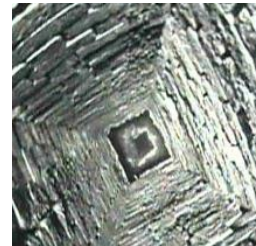
- ・使用されている建築材料、製造時期、施工時期を確認（設計図書、図面等）
- ・建築物石綿含有建材調査者による対応



煙突上部からのカメラ診断

現地調査 試料採取

- ・現地にて目視確認
- ・書面調査結果との整合
- ・煙突アスベスト劣化診断（煙突内部のカメラ診断）
- ・アスベストアナライザーによる簡易判定
- ・分析のための試料採取
- ・石綿作業主任者による対応



煙突内部の劣化状況確認

分析調査

- ・自社分析による迅速対応（JIS1481） 分析ラボ（盛岡、仙台、埼玉、大阪）
- ・気中のアスベスト粉じん測定
- ・調査結果報告書の作成
- ・一般財団法人日本環境測定分析協会、公益社団法人日本作業環境測定協会 試験・認定技術者による対応



アスベストアナライザーによる現場簡易診断

アスベストアナライザーとは

現場での調査を実施する場合に、オンサイトで石綿の含有が確認できるアスベストアナライザー（マイクロフェーザー）が市販されている。この装置は、近赤外線の吸収スペクトルを確認し、データライブラリーとの比較により、約10秒間の計測で石綿の含有の有無を検知し、クリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライトは1%以上、アンソフィライトは2%以上含有している場合には石綿の種類を表示し（ただし、アモサイトとクロシドライトは近赤外線の吸収スペクトルが重なるためアモサイト/クロシドライトと表示される）、石綿の含有率が当該含有率以下または含有していない場合には「not found」と表示され、その場合には、分析を実施し、0.1%以上の含有の有無を確認する必要がある。この装置を使用すると意図的に使用された石綿の含有の有無を簡易に短時間で確認することができる（図-11）。

この装置により石綿含有と判定されたものを石綿含有と見なすことにより事前調査の効率化につながる事が期待される。但し、「not found」と表示された場合には必要な分析を実施し、0.1%を超えて石綿が含有するか否かの法的判定を行うこと。

出典：「石綿飛散漏洩防止対策徹底マニュアル[2.20版]」（厚生労働省）一部抜粋

URL <http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11300000-Roudoukijunkyokuanzeniseibu/0000199663.pdf>